

【令和4年度 授業改善推進プラン】

板橋区立高島第五小学校

【家庭】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科に対する意欲は全体的に高く、興味をもって学習に取り組んでいる児童が多い。 ・「家族・家庭生活」「住生活」「消費・環境」については、自分の生活を振り返り、よりよい生活を送ろうとする意識をもつ児童が多い。 ・「食生活」については、コロナウィルス感染防止対応により、動画視聴や示範実習のみ等の制限があり、実習活動ができていない。 ・「衣生活」では、個人差はあるものの、裁縫での作品作りに積極的に取り組んでいる児童が多い。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した知識や技能を生活にどのように活かしていくかをより深く考え、さらに習慣化できるよう意欲付ける学習とそれらを教師が見取る工夫が必要である。 ・玉結びや玉止め、運針やミシン操作等の裁縫での技能の個人差が大きいため、個に応じた指導体制や方法について工夫が必要である。 ・調理の実習活動を家庭で行っている児童もいるが、全員が確実に実習できるように、工夫していく必要がある。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の中で身に付けた知識や技能を自分の生活に活用できるような課題を設定する。 ・興味関心を高めるために様々な場面で具体物を提示することにより、手順などの理解を図る。 ・「食生活」では、栄養士とTT体制での指導を行い、食に関する理解を深め、実践力を高める。 ・家庭にも協力をお願いし、学んだ知識や技能を発揮する機会を多く設け、学校・家庭双方で共有し、自己有用感を高めていく。 ・「衣生活」では、ミシン等の器具の管理や実習での個人差に対応するため、iCSを活用し、サポーターの協力を得る。 ・「住生活」「消費・環境」では、本校の特色でもある緑のカーテンと関連させる等、SDGsを意識した学習を行う。